

5. 航法

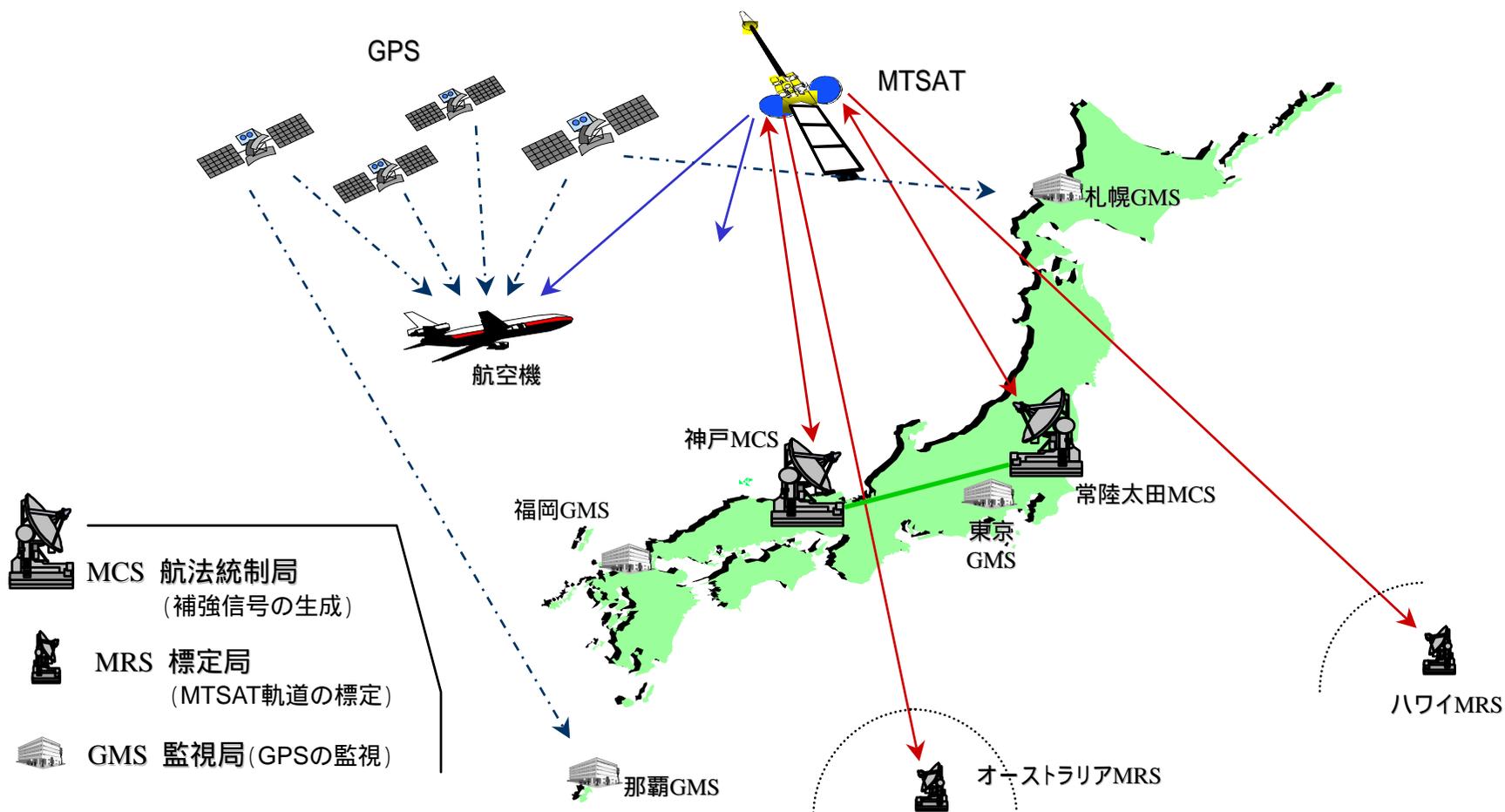
(1) GNSS (Global Navigation Satellite System: 全地球的衛星航法システム)

GPS等の周回衛星とこれを補強するシステムから構成される衛星航法システム。

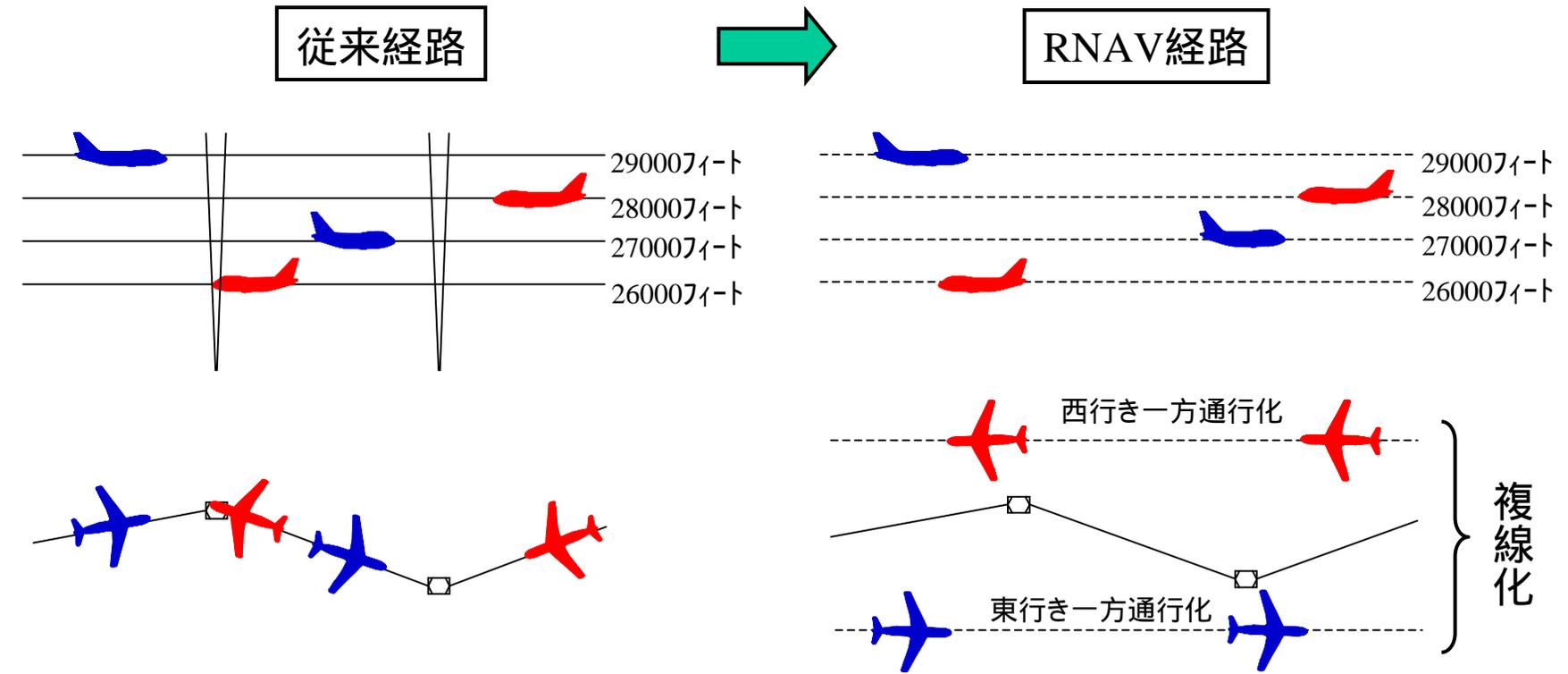
MSAS (運輸多目的衛星用衛星航法補強システム)は、MTSATを利用してGPSの性能を広範囲にわたり補強する広域補強システム。

GBAS (地上型衛星航法補強システム)は、地上からGPSを補強する狭域補強システム。限定された覆域でカテゴリ1 までの精密進入を行うことが可能。

MSASシステム構成



(2) RNAV経路を利用した経路の複線化・一方通行化のイメージ



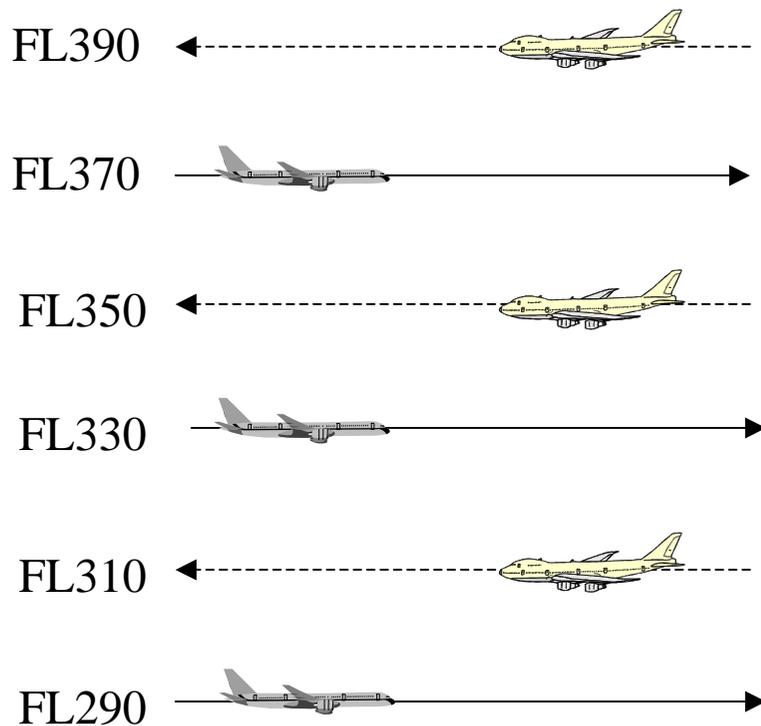
- 無線施設を結ぶ従来経路
- 一方通行化したRNAV経路

RNAV経路 (aRea NAVigation Route)とは、地上の無線施設直上を結んで設定されている航空路を、新技術を用いることによって、必ずしも直上を結ばずに設定することができる。今回の航空路の再編は、RNAV経路を活用し経路の複線化や一方通行化を図る。

(3) RVSM (Reduced Vertical Separation Minimum: 短縮垂直間隔)

フライトレベル290 (29,000 フィート)以上の高度帯においても 1,000 フィートの垂直間隔を適用する方式。
太平洋上の洋上管制区でフライトレベル410以下の高度においてRVSM適合機相互間に適用。

従来の高度



基本的なRVSM高度

